



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,006	△11.2	554	△32.7	534	△32.0	331	△29.1
24年3月期第3四半期	10,144	31.2	823	26.0	786	25.6	467	△13.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 331百万円 (△26.5%) 24年3月期第3四半期 450百万円 (△16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.13	—
24年3月期第3四半期	38.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,265	4,223	41.1
24年3月期	10,404	4,014	38.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,223百万円 24年3月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△2.7	570	△42.8	540	△43.2	310	△51.3	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	13,029,500 株	24年3月期	13,029,500 株
25年3月期3Q	810,646 株	24年3月期	809,055 株
25年3月期3Q	12,219,688 株	24年3月期3Q	12,261,093 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要やエコカー補助金などの政策効果により、緩やかな回復傾向にありましたが、エコカー補助金が終了し、欧州債務危機や円高が長期化していることに加え、中国などの新興諸国においても経済成長の減速傾向が認められ、また、日中関係が悪化したことから、景気の先行きについては、依然不透明な状況で推移しています。

当社グループを取り巻く事業環境は、第2四半期までは順調に推移しておりましたが、第3四半期からは、需要の落ち込みを受け、アンチモン事業・金属粉末事業ともに、販売は低調でありました。

その結果、当第3四半期の売上高は前年同期比1,138百万円減収（11.2%減収）の9,006百万円、営業利益は269百万円減益（32.7%減益）の554百万円、経常利益は251百万円減益（32.0%減益）の534百万円、四半期純利益は136百万円減益（29.1%減益）の331百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、4月中旬に上昇に転じましたが、6月以降は緩やかな下げ基調となり、当第3四半期の平均はトン当たり12,921ドルで、前年同期の14,891ドルに比して13.2%ダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、家電・自動車向けなどが低迷し、当第3四半期の販売数量は、前年同期比154トン減少（3.2%減少）の4,614トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、相場の下落と販売数量の減少により、954百万円減収（15.1%減収）の5,370百万円となりました。セグメント利益は、売上高減少が影響し、248百万円減益（50.0%減益）の248百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業においては、粉末冶金向け金属粉はエコカー補助金終了、家電製品の販売不振、対中国向け輸出の減少などの影響があり、需要が減少しております。電子部品向け微粉末金属粉についても、スマートフォン以外の電子部品関連需要が伸び悩んでいます。

用途別の販売状況の実績につきましては、粉末冶金向け金属粉の当第3四半期の販売数量は、前年同期比108トン減少（7.9%減少）の1,248トン、電子部品向け微粉末金属粉は、81トン減少（15.2%減少）の453トンとなり、全体では前年同期比189トン減少（10.0%減少）の1,700トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は175百万円減収（4.6%減収）の3,626百万円となりました。セグメント利益は、販売数量減少により、21百万円減益（7.3%減益）の275百万円となりました。

[その他]

当第3四半期不動産賃貸事業の売上高は9百万円（前年同期比46.5%減収）、セグメント利益は9百万円（前年同期比51.0%減益）でありました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,131百万円となり、前連結会計年度末と比べ177百万円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が317百万円増加いたしました。現金及び預金が92百万円、受取手形及び売掛金が416百万円減少したことによるものであります。固定資産は4,129百万円となり前連結会計年度末に比40百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が36百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,265百万円となり、前連結会計年度末と比べ138百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,397百万円となり、前連結会計年度末と比べ772百万円減少いたしました。これは主にその他に含まれる設備未払金が651百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,645百万円となり前連結会計年度末に比べ426百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加463百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、6,042百万円となり、前連結会計年度末と比べ346百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,223百万円となり、前連結会計年度末と比べ208百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益により331百万円増加したこと及び配当により122百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.1%（前連結会計年度末は38.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、売上高はほぼ通期の業績予想の水準のとおり、営業利益、経常利益、四半期純利益は通期の業績予想を上回る水準で推移しております。

しかし、第4四半期は、実稼働日数が短いことや当社グループの製品の主要な最終需要家である家電産業、電子部品産業などの需要の減退が予想されることから、連結業績予想につきましては、期初予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ45,185千円増加しております。

(4) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社の連結子会社は、平成24年5月25日開催の定時株主総会において役員退職慰労金打ち切り支給の決議を致しました。これに伴い、決議時点での「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額の未払分については長期未払金として固定負債の「その他」に計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,499	1,546,628
受取手形及び売掛金	2,578,564	2,162,064
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	1,141,701	1,160,504
仕掛品	143,307	174,703
原材料及び貯蔵品	694,497	1,011,631
その他	119,397	81,838
貸倒引当金	△8,669	△7,027
流動資産合計	6,309,298	6,131,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	572,010	1,364,805
機械装置及び運搬具(純額)	347,979	904,606
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	1,385,333	72,247
有形固定資産合計	3,783,914	3,820,250
無形固定資産	50,318	53,939
投資その他の資産	254,675	255,565
固定資産合計	4,088,909	4,129,754
繰延資産	6,033	4,900
資産合計	10,404,240	10,265,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977,176	1,099,754
短期借入金	1,925,700	1,876,600
未払法人税等	137,472	58,526
賞与引当金	103,021	49,795
その他	1,026,667	312,528
流動負債合計	4,170,038	3,397,205
固定負債		
社債	302,000	274,000
長期借入金	1,436,600	1,900,300
退職給付引当金	301,249	319,158
その他の引当金	12,287	—
負ののれん	32,405	8,691
資産除去債務	35,687	35,174
その他	99,417	108,391
固定負債合計	2,219,647	2,645,716
負債合計	6,389,686	6,042,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,596,217	2,805,589
自己株式	△146,171	△146,528
株主資本合計	4,032,897	4,241,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,343	△18,834
その他の包括利益累計額合計	△18,343	△18,834
純資産合計	4,014,554	4,223,077
負債純資産合計	10,404,240	10,265,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,144,931	9,006,685
売上原価	8,713,415	7,820,729
売上総利益	1,431,515	1,185,955
販売費及び一般管理費	607,627	631,536
営業利益	823,888	554,419
営業外収益		
受取配当金	1,742	1,488
負ののれん償却額	23,713	23,713
助成金収入	715	5,484
その他	6,309	8,504
営業外収益合計	32,481	39,191
営業外費用		
支払利息	40,416	40,529
為替差損	11,311	7,049
その他	18,151	11,182
営業外費用合計	69,879	58,761
経常利益	786,489	534,849
特別損失		
固定資産除却損	6,333	5,093
固定資産売却損	44	2,881
子会社清算損	611	—
ゴルフ会員権評価損	1,900	—
ゴルフ会員権売却損	—	3,376
特別損失合計	8,888	11,351
税金等調整前四半期純利益	777,601	523,498
法人税、住民税及び事業税	171,373	185,225
法人税等調整額	138,296	6,701
法人税等合計	309,670	191,927
少数株主損益調整前四半期純利益	467,930	331,570
四半期純利益	467,930	331,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	467,930	331,570
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△17,397	△491
その他の包括利益合計	△17,397	△491
四半期包括利益	450,533	331,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,533	331,078

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,324,524	3,801,966	10,126,491	18,440	10,144,931	—	10,144,931
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	31,571	31,571	990	32,561	△32,561	—
計	6,324,524	3,833,537	10,158,062	19,430	10,177,492	△32,561	10,144,931
セグメント利益	496,621	297,272	793,893	18,695	812,589	11,298	823,888

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額11,298千円はセグメント間取引の消去11,298千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,370,518	3,626,306	8,996,824	9,860	9,006,685	—	9,006,685
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	23,907	23,907	—	23,907	△23,907	—
計	5,370,518	3,650,213	9,020,732	9,860	9,030,592	△23,907	9,006,685
セグメント利益	248,437	275,718	524,155	9,155	533,311	21,108	554,419

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額21,108千円はセグメント間取引の消去21,108千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. 会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益がそれぞれ「アンチモン事業」で6,214千円、「金属粉末事業」で38,971千円増加しております。